

第4回 豊田市教育行政計画審議会 議事録

【日 時】令和3年6月3日(木) 13:30~15:30

【形 式】オンライン会議

(傍聴会場：豊田市役所東庁舎7階 東大会議室1・2)

【出席者】

(委 員)

| | | |
|--------|-----------------------|-------|
| 野田 敦敬 | (愛知教育大学 学長) | 《会長》 |
| 牧野 篤 | (東京大学大学院教育学研究科 教授) | 《副会長》 |
| 井村 美穂 | (NPO 法人子どもの国 理事長) | |
| 大山 卓 | (豊田市青少年相談センター 主幹) | |
| 久野 友士 | (豊田市小中学校長会 会長) | |
| 近藤 かおる | (豊田市崇化館交流館 館長) | |
| 鈴木 孝寛 | (豊田市区長会 理事) | |
| 鈴木 悠介 | (一般社団法人豊田青年会議所 理事長) | |
| 都築 知己 | (豊田市青少年健全育成推進協議会 副会長) | |
| 寺井 之保 | (市民公募委員) | |
| 益城 啓 | (豊田市 PTA 連絡協議会 副会長) | |
| 水野 愛 | (市民公募委員) | |
| 若子 理恵 | (豊田市子ども発達センター センター長) | |

(計13名)

(事務局)

| | |
|-------|-----------------------|
| 澤平 昭治 | (豊田市教育委員会 教育部長) |
| 粕谷 浩二 | (豊田市役所 生涯活躍部長) |
| 竹内 寧 | (豊田市役所 子ども部長) |
| 三浦 法雄 | (豊田市教育委員会 教育部副部長) |
| 吉野 薫 | (豊田市教育委員会 教育監) |
| 中垣 秋紀 | (豊田市教育委員会 教育政策課長) |
| 清水 昭子 | (豊田市教育委員会 教育政策課 副課長) |
| 志村 和彦 | (豊田市教育委員会 教育政策課 担当長) |
| 青木 宏羽 | (豊田市教育委員会 教育政策課 主任主査) |
| 木戸 峻人 | (豊田市教育委員会 教育政策課 主査) |

【傍聴者】 4名

- 【議 事】
- 1 教育部長あいさつ
 - 2 会長あいさつ
 - 3 新任委員の自己紹介
 - 4 会議録署名者の指名
 - 5 報告事項
 - (1) (仮) 第4次教育行政計画に関するアンケート（Eモニター）結果概要
 - (2) 令和3年度計画策定スケジュールについて
 - (3) パブリックコメントの実施概要について
 - 6 議 題
 - (1) (仮) 第4次教育行政計画の素案について
 - (2) (仮) 第4次教育行政計画のキーワードについて
 - (3) 次期計画の名称案について
 - 7 その他

開会

事務局

ただ今から第4回豊田市教育行政計画審議会を開催します。

本日は新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン会議形式での開催とさせていただきます。進行に不慣れな部分もあるかもしれませんが、何卒ご了承ください。

この審議会は原則公開としています。また、会議録につきましても、市民の皆様がご覧いただけるように、市のホームページに掲載しますので、ご承知おきください。本日は傍聴される方が4名いらっしゃいます。

(配布資料の確認)

審議会委員の辞任に伴い、今回の審議会から、新しく3名の方に委員を委嘱させていただきます。委嘱状をお渡しするのが本意ではございますが、オンライン会議の都合上、事前に配布させていただきましたので、ご確認ください。また、新委員の皆様には後ほど自己紹介をお願いいたします。

1 教育部長あいさつ

事務局

本日は山本教育長が他の公務の関係で不在ですので、豊田市教育委員会教育部の澤平部長からごあいさつを申し上げます。

教育部長

皆様こんにちは。現在緊急事態宣言が東京都や愛知県に出されている中ではありますが、早急にご審議いただきたい議題もございますので、オンライン会議形式で審議会を開催させていただきました。

コロナ禍で制約の多い中でも、子どもたちは明るく頑張って学校生活を送っている。このことは、保護者、家庭、地域の方々や、本日お集りの皆様をはじめとした関係機関の御協力があったこととあり、この場を借りて感謝申し上げます。

さて、当審議会は本年度で2年目になりますが、本日と9月24日の2回を残すのみとなっています。

本年1月26日に、国の中央教育審議会が「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」と題した答申をまとめ、急激に変化する時代の中で子どもたちが育む

べき資質・能力が明示されました。具体的には、子ども一人ひとりの理解度や興味関心に応じて、学習を深め、広げることや、子どもが多様な他者と関わりながら、より良い学びを生み出すことを目指しています。豊田市においても、これまで以上にきめ細かな教育や地域ぐるみの教育を推進し、子どもたちが自らの可能性を最大限に発揮できるよう支援していきたいと考えています。

今回の教育行政計画審議会は、計画の素案やキーワードなど、重要な内容を議題とさせていただきます。委員の皆様それぞれのお立場から、議論していただければと思います。よろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。

2 会長あいさつ

事務局 野田会長よりごあいさつをいただきます。

野田会長 皆様こんにちは。緊急事態宣言中ではありますが、事務局による様々な準備もあり、オンライン形式で開催することができました。

本年度この審議会はあと2回を残すのみとなっております。最後から2回目の審議会は重要な回となります。本日は計画の素案などについてご議論いただきたいと思います。限られた時間の中でのご議論となりますので、効率よく進めてまいりたいと思います。皆様のご協力をお願いします。よろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。

3 新任委員の自己紹介

事務局 新たに委員に就任いただきました皆様からごあいさつをいただきます。名簿の番号順に久野様からお願いいたします。

久野委員 (委員自己紹介)

事務局 ありがとうございます。続いて、鈴木孝寛様からお願いいたします。

鈴木(孝)委員 (委員自己紹介)

事務局 ありがとうございます。続いて、益城様からお願いいたします。

益城委員 (委員自己紹介)

事務局 ありがとうございます。

本日は委員の方、全員にご出席いただいております。豊田市教育委員会附属機関規則の規定により、半数以上の方が出席されていますので、本日の会議が成立しましたことを報告させていただきます。

ここからの議事の進行については、野田会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

4 会議録署名者の指名

野田会長 はじめに会議録署名者の指名を行います。

「豊田市教育行政計画審議会及び部会の会議の傍聴及び会議録の公開に関する要綱」に基づき、会議録を作成したときは、「会長及び会長が指名した者の代表署名をとる」ことになっています。

そこで、私から署名者をご指名します。名簿の順で3番目の久野委員を指名しますので、よろしくお願いいたします。

久野委員 (了承)

5 報告事項

(1) (仮) 第4次教育行政計画に関するアンケート (E モニター) 結果概要

野田会長 本日の審議に入ります。

まず、本日の会議のねらいをご説明します。次第5の報告事項(1)では、「(仮)第4次教育行政計画に関するアンケート (E モニター)」の結果概要をご報告します。また、報告事項(2)では、今年度の計画策定スケジュールをご報告します。報告事項(3)では、7月から実施予定のパブリックコメントの概要についてご報告します。

続いて、次第6の議題(1)では、(仮)第4次教育行政計画の重点事業の状態指標・成果指標・実施内容、基本施策の状態指標を踏まえながら、計画図書の素案を協議していきたいと思えます。さらに、議題(2)では、計画のキーワードを協議していく予定です。最後に、議題(3)では、次期計画の名称案について協議してまいります。

それでは、報告事項「(1) (仮) 第4次教育行政計画に関するアンケート (E モニター) 結果概要」について、事務局から説明をお願いします。

事務局 (資料1～4ページを説明)

野田会長 ただ今の説明について、ご意見・ご質問がありますか。

A 委員 様々なご意見が寄せられていますが、それぞれの意見に対するフィードバックについては、どのように考えていますか。

事務局 いただいたご意見については真摯に受け止めながら、今後の計画策定を行う中で反映させていただく予定です。なお、7月にはパブリックコメントの関係で再度アンケートを依頼する予定です。

(2) 令和3年度計画策定スケジュールについて

野田会長 報告事項(2)に進みたいと思えます。報告事項(2)「令和3年度計画策定スケジュールについて」、事務局から説明をお願いします。

事務局 (資料5ページを説明)

野田会長 ただ今の説明について、ご意見・ご質問がありますか。

各委員 (特になし)

(3) パブリックコメントの実施概要について

野田会長 報告事項(3)に進みたいと思えます。報告事項(3)「パブリックコメントの実施概要について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 (資料6ページを説明)

野田会長 ただ今の説明について、ご意見・ご質問がありますか。

各委員 (特になし)

6 議題

(1) (仮) 第4次教育行政計画の重点施策について

- 野田会長 次第6の議題に進みたいと思います。議題(1)「(仮称)第4次教育行政計画の素案について」ですが、まずは冒頭の第1章と第2章の内容を検討していきたいと思います。第1章と第2章について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 (資料7ページ及び別冊資料の第1章・第2章を説明)
- 野田会長 計画の素案のうち、第1章と第2章についての説明がありました。ただ今の説明について、ご意見・ご質問がありますか。
- B委員 基本施策の3に「市民の活躍を支援する学びの場の充実」という柱が追加され、第4章の基本施策のページには特に追加された部分についての記載がありませんが、その部分は後から追記するという理解でよろしいですか。
- 事務局 後ほどご説明いたしますが、重点施策や基本施策の変更点については追記する予定です。
- 野田会長 続いて、第3章の重点施策について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 (別冊資料の第3章を説明)
- 野田会長 ただ今の説明について、ご意見・ご質問がありますか。
- C委員 16ページの状態指標に自己肯定感に関するものを設定したのは良いと感じますが、小学生よりも中学生の方が数値が下がっています。18ページには「主体的・対話的で深い学び」を実現するための教員研修の充実を行うとの記載がありますが、このことが自己肯定感の向上につながるのかが不明確であると感じます。他の委員の皆様からも御意見を伺いたいと思います。
- D委員 18ページにある「学力向上授業モデルの活用」という実施内容については、学校現場への導入後に浸透させることも見据えたフローが必要だと感じます。教員研修の中で先生同士が情報や事例を共有し、しっかりと運用していくことが、先程の自己肯定感にもつながっていくのではないのでしょうか。
- 野田会長 学校現場における学力向上授業モデルの活用状況はどのようになっていますか。
- E委員 各学校によって活用状況が大きく異なるため、教務主任者会議等で活用方法を皆で検討していくと良いと感じます。
- 野田会長 このモデルのパンフレットは各教員に配布されていますか。
- E委員 各学校に配布されています。
- 教育監 各教員のパソコン上でも閲覧が可能です。
- 野田会長 モデルにこだわりすぎると授業が単一化する危険性もあるため、各教員の個性を活かしながらモデルを崩していくことも大切と感じます。
- B委員 「主体的・対話的で深い学び」推進事業の成果指標が2つありますが、児童生徒の数値は上がっている一方で、学校の数値が下がってしまっているのはなぜでしょうか。原因が分かっているのであれば、それを施策のあり方に反映させる必要があると感じます。
- 教育監 「主体的・対話的で深い学び」に対する教職員の問題意識が高まってきたことが原因と考えられますが、今後詳細な分析が必要と感じています。
- 野田会長 21ページの成果指標については、調べる学習コンクールへの応募点数の目標が7,000点とかなり高い数値となっていますが、問題ないのでしょうか。
- 事務局 図書館管理課との調整を行う中で、高い目標であることは認識していますが、

今後学校図書館司書と綿密に連携してこの程度の数値を目指していきたいと考えております。

A 委員 目標値について、100%が望まれるものや全国平均に近づけようとするものは意図がよく分かるのですが、分かりにくいものもあると感じます。例えば、29ページの特別支援教育の推進事業の成果指標2つ目に、「就学相談会の利用者数」とありますが、これは小・中学校の先生たちが特別支援教育を頑張った成果というよりも、小学校入学前の段階の取組を評価する指標です。第3次計画では目標値が180人になっていましたが、2020年には259人となっており、対象者を掘り起こせていなかった当時の状況とは違うと感じます。計画の継続性は理解できますが、小・中学校の先生が頑張りたいと思えるようなことを指標にすべきではないでしょうか。

事務局 この指標については、一度再検討を行います。

D 委員 41ページの教職員多忙化解消推進事業について、コロナ禍で学校現場のいろいろなことが変わってきていますが、何を削っていくかは各学校の裁量なのででしょうか。

教育監 教育委員会で「教職員多忙化解消プラン」という計画を策定しており、2021年3月に改訂しました。このプランに基づいて教育委員会で主導する部分もあれば、各学校の主体的に進めていく部分もあり、いろいろな視点から子どもたちのための教育活動が十分行えるように努めていきたいと考えています。

F 委員 WE LOVE とよた教育プログラム推進事業の内容は具体的にどのようなものでしょうか。

教育監 市内には様々な公共施設や自然環境があり、従来から子どもたちが活用していますが、各学年の学習活動を系統的に整理し、より効率的に活用できるようにするための事業です。

F 委員 まちづくりや子育てなど様々な活動団体のプログラムの活用ではないということだと、地域の活動を知ることにはつながらないと思いますが、いかがでしょうか。

教育監 市内の教育資源の中には、地域の遺跡等の資源もあり、地域の方々や市役所の他部署の事業と連携して学校が活用していますが、それらを整理整頓していくことがねらいですので、当然地域とも連携して実施していきます。

野田会長 続いて、第4章の基本施策について、事務局から説明をお願いします。
事務局 (別冊資料の第4章を説明)

野田会長 ただ今の説明について、ご意見・ご質問がありますか。

B 委員 基本施策3の「暮らしを豊かにする学びの支援」に「市民の活躍を支援する学びの場の充実」という施策の柱を追加していただきましたが、元々の素案にこの柱が外されていた経緯はどういったことでしょうか。

事務局 令和2年度に文化・スポーツに関する事務の執行権限が市長部局に移管した際に、関係部局との協議が不十分であったことが原因ととらえています。改めてこの件について生涯活躍部と協議を行い、今回このような形で御提案させていただいております。

野田会長 続いて、第5章の計画の推進と資料編について、事務局から説明をお願いします。

事務局 (別冊資料の第5章及び資料編を説明)

野田会長 ただ今の説明について、ご意見・ご質問がありますか。

各委員 (特になし)

野田会長 それでは、重点施策1で数値が著しく下がっている項目があり、その分析を加えていただきたいことと、重点施策2の特別支援教育について、目標と成果指標にずれがあるので、見直しをしていただきたいこと、の2点以外は概ね合意ということで進めてまいります。議題「(1)(仮)第4次教育行政計画の素案について」ご異議はありませんでしょうか。

各委員 (異議なし)

(2) (仮) 第4次教育行政計画のキーワードについて

野田会長 議題「(2)(仮)第4次教育行政計画のキーワードについて」を協議したいと思います。

事務局から説明をお願いします。

事務局 (資料8ページを説明)

野田会長 ただ今の説明について、ご意見・ご質問がありますか。

C委員 1番目の「未来を拓く学び合い」に共感しています。激動の時代を生き抜くような表現が含まれていると良いと思います。

E委員 教員として「生きる力」は外せないキーワードですが、「学び合い」や「共に」という言葉も重要なので、1番目か2番目が良いと思います。

野田会長 私は第3次計画の「地域ぐるみで学び合い」も良いと思いますが、キーワードを刷新したいとのことですので、「未来を拓く」という表現には力強さがあり、良いと思います。

B委員 「共に」という表現は一緒に何かを行う感覚がありますが、「合う」という表現にはお互いに教え合うという関係性も含まれていますので、「未来を拓く学び合い」が良いと思います。

野田会長 それでは、議題「(2)(仮)第4次教育行政計画のキーワードについて」は、1番目の「未来を拓く学び合い」で概ね合意とさせていただきますが、ご異議はありませんでしょうか。

各委員 (異議なし)

(3) 次期計画の名称案について

野田会長 最後に、議題「(3)次期計画の名称案について」を協議したいと思います。事務局から説明をお願いします。

事務局 (資料9ページを説明)

野田会長 ただ今の説明について、ご意見・ご質問がありますか。

B委員 国の第3期教育振興基本計画の方針2・3・4には生涯学習の内容が書かれています。豊田市の第3期教育大綱も学校教育に限定することなく、市民の生涯にわたる学びの中で、多様な市民が学びながら共に育っていく地域をつくりましょ

うというイメージが書かれていますが、現在の（仮）第4次教育行政計画は大人の学びが抜け落ちている計画になっています。教育行政の計画としてはこれで良いと思いますが、豊田市は学校教育のみを教育として捉えているという解釈がされてしまわないかと心配しています。豊田市としてこれで良いという判断であれば反対しませんが、教育振興基本計画という名称にする場合に、一度教育全体をどう捉えているのかを明確にされた方が良いと思います。

C委員 B委員のおっしゃるとおり、名が体を表すと思いますので、再検討されてはいかがでしょうか。

事務局 関係部局とも協議して事業の追加等について調整しています。豊田市として教育についての考えを明確にした方がということですが、まだ議論が不十分ですので、計画の名称については事務局として再検討いたします。

野田会長 B委員としては、これまでどおり教育行政計画という名称の方が良いのではないかとご意見でよろしいでしょうか。

B委員 教育委員会は教育行政を所管する独立した行政委員会なので、教育行政計画という名称であれば問題ないと思いますが、教育大綱と教育振興基本計画がずれているという解釈をされてしまうおそれがあるのが心配です。

野田会長 私も大綱とのずれは気になりますので、議題「(3)次期計画の名称案については、第5回審議会で再度提案していただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

野田会長 以上で、本日の議事につきましては、すべて終了しました。

委員の皆様方には、長時間にわたり、議事の進行にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

7 その他、閉会

事務局 委員の皆様、お疲れ様でした。

(今後の審議会の日程について説明)

それでは、以上をもって第4回豊田市教育行政計画審議会を終了とします。

以上

この会議録は会議の内容と相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和3年7月13日

豊田市教育行政計画審議会会長

野田 敦敬

豊田市教育行政計画審議会委員

入野 友士